

1. 件名：福島第一原子力発電所における実施計画の変更認可申請(多核種除去設備クロスフローフィルタ国産品導入)に係る面談
2. 日時：令和5年8月10日(木) 13:30~15:30
3. 場所：原子力規制庁6階会議室
4. 出席者  
原子力規制庁 原子力規制部  
東京電力福島第一原子力発電所事故対策室  
正岡企画調査官、石井安全審査官、山下専門職、横山係長、植木技術参与  
検査グループ 専門検査部門  
山元首席原子力専門検査官  
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー  
プロジェクトマネジメント室 担当2名(テレビ会議システムによる出席)  
福島第一原子力発電所 担当1名(テレビ会議システムによる出席)

#### 5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社(以下「東京電力」という。)から、今後申請予定の多核種除去設備(以下「ALPS」という。)の前処理設備で使用しているクロスフローフィルタ(以下「CFF」という。)の供給の安定化を意図した国産品導入に係る実施計画について、資料に基づき、主に本年7月26日の面談において指摘した事項に対する回答の説明があった。
- 原子力規制庁は、説明を受けた内容について事実関係を確認した。また、申請に当たっては以下の点に留意するとともに、記載内容等を精査した上で申請するよう伝えた。
  - 主要仕様の材料欄について、国内品・海外品それぞれの規格・基準を踏まえた記載内容とすること。
  - まとめ資料において、国産品 CFF の1次系の圧力損失の評価に関して、圧力損失の増減が系統全体に及ぼす影響(上流側の圧力上昇や下流側流量の低下等)を整理した上で、実機での適用可否に係る考え方を示すこと。また、国産品 CFF の逆洗耐久試験について、実際に国産品 CFF を使用する際の逆洗の運用方法を示した上で試験回数の妥当性を示すこと。
  - まとめ資料における環境条件への適合性に係る記載について、既設 ALPS の CFF と増設 ALPS の CFF に係る記載が混在していることから、各設備に対する適合性を整理して示すこと。
- 東京電力より、上記コメントについて了解した旨の回答があった。また、準備が整い次第、本件に係る変更認可を申請する旨発言があった。

#### 6. 資料

- 多核種除去設備クロスフローフィルタ国産品導入に伴う実施計画変更認可申請につ

いて

- 福島第一原子力発電所特定原子力施設への指定に際し東京電力株式会社福島第一原子力発電所に対して求める措置を講ずべき事項についての適合性について（多核種除去設備クロスフローフィルタ国産品導入）
- コメントリスト

以上